

子どもの豊かな未来のために新しい学校をつくります

# 杉並第五小学校・若杉小学 統合協議会ニュース 第 1 号 最終号

天沼小学校の開校はもうすぐそこです!

統合新校の開校に向けて、統合協議会では 2 年間の長きに渡り、統合新校の校名に始まり、新校舎基本計画案、校章、校歌、通学路、教育方針などを協議してまいりました。委員の皆さまには、子どもたちのための新しい学校づくりに向けて、毎回、熱心にご検討いただき、本当にありがとうございました。

統合新校「杉並区立天沼小学校」開校の準備が整い、第 21 回（2 月 5 日）をもって統合協議会は終了しました。統合協議会ニュースは今号が最終号となります。

天沼小学校が地域に根ざした学校として発展することができますよう、これからも地域の皆様と共に歩んでまいります。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 天 沼 小 の 校 歌

天沼小学校の校歌ができました。作詞は詩人の谷川俊太郎さん、作曲はピアニストの谷川賢作さんです。4 月の開校に向けて、杉並第五小学校と若杉小学校の子どもたちが校歌の練習に励んでいます。

杉並区立天沼小学校校歌

「世界は不思議でいっぱいだ」

作詞 谷川俊太郎  
作曲 谷川賢作

晴れた日に考える  
青空みつめどこまでも  
答えもとめて問いかける  
世界は不思議でいっぱいだ  
曇る日は思いやる  
苦しんでいる子どもらを  
いつもどこかで見つめてる  
よりよい世界は夢じゃない  
雨の日もたくましく  
杉の木みたいたにまっすぐに  
心とからだのびのびと  
今日から明日へと学ぶ日々

## 天沼小学校の新通学路

天沼小学校の通学路は、現在の両校の通学路をそのまま残し、現杉並第五小の通学区域から天沼小への通学路を新たに4つ設けます。最終的な通学路は下図のとおりです。



## 統合協議会（最終）

2月5日に開催した第21回統合協議会では、19年度に協議した内容をまとめた最終報告書を協議しました。最終報告書の内容は、校名決定の経緯、校章、校歌、通学路、教育方針の協議内容を記すとともに、校章及び校歌の応募作品などを資料編としてまとめています。

協議の結果、統合協議会として教育委員会に報告することが了承されました。報告書は、3月中旬に教育委員会のホームページに掲載していきます。

統合協議会の最終回にあたり、各委員からこれまでの感想が述べられました。

- 少子化の時代にあって、統合することはよいことと思っていましたが、今ある学校がなくなることは残念でなりません。しかし、子どもたちのことを思い、いたずらに時間をかけることはよくないと考えました。新しい学校に夢を託し、天沼小学校が栄えることを望んでいます。
- 2年間に渡り検討し、新しい学校の土台ができました。すばらしい学校になることを期待しています。
- 保護者として不安に思うことを一つひとつ解消できればと思い、協議会に出席しました。子どもたちは新校を楽しみにしています。今では子どもたちに励まされているような気持ちです。
- 4年前、統合の話が出されたときは驚き、悩みもしました。協議会に参加して新しいものをつくることの難しさ、そのために何が必

要かを考え、たくさんの方を学びました。

- ・ 協議会に参加して、校舎の設計のことなど、多くのことを学ばせていただきました。
- ・ これまでの間、紆余曲折ありましたが、統合に向けてとても良い話し合いができました。これも地域の皆さんのおかげと感謝しています。
- ・ 校章や校歌の立ち会うことができたことを誇りに思います。これからも、学校を支え、協力させていただきます。
- ・ 地域の教育力のあり方を考えて参加しておりました。協議会に参加して、自分自身の勉強にもなり



ました。

- ・ 統合第1号の学校を一番の学校にしようという前向きで建設的な議論ができて、本当に良かったと思います。
- ・ このあいだの百人一首大会を見ても、杉並第五小、若杉小の子どもたちはとても仲良く交流ができています。先生方の努力に感謝いたします。
- ・ これまで皆で検討した学校ですから、間違いなくよい学校ができていると思っています。これからも、関係者が一体となって新しい学校づくりに取り組むことが大切です。

最後に、会長、副会長、そして教育長からのあいさつがありました。

#### 教育長 井出 隆安

これまでの間、協議会委員の皆さまが熱意と愛情をもって協議されたことに改めて敬意と感謝の意を表したいと思います。

この地に住まれる皆さまが、いかほど学校を思い、子どもたちのことを考えて日々過ごされているか、こと急あれば、あらゆる英知を寄せ合ってその解決を図り、未来を拓いていこう

とされる姿勢は、まさに「いいまちが、いい学校を育てる」というお手本を見せていただいた思いがします。

天沼小学校を、私どもも全力を挙げて支えてまいります。どうか、地域の皆さまにおかれましても、今後とも変わらぬご支援をいただきますようお願いいたします。

#### 会長 中島 豊(若杉小学校長)

2年間に渡る協議を経て、今日、ここに至ったわけですが、これも、協議会委員の皆さまの広い見地からのご意見、ご示唆のおかげと感謝しております。

子どもたちは様々な合同活動を日常的に行っています。百人一首大会、友禅体験、国語や算数の合同授業など、杉並第五小の子、若杉小の子という区別はまったくありません。子ども

たちが一番先頭に立って、統合新校へのステップを歩んでいると実感しています。

協議会の場で、PTA、地域の方、同窓会、教職員、区教育委員会が子どもたちのために何ができるのかを話し合っている学校ですから、よい学校にならないはずがありません。

本当に2年間ありがとうございました。

#### 副会長 東海林 孝吉(杉並第五小学校長)

これまでの間、建設的な話し合いが進められてきたことは、協議会委員の皆さまの知恵と力添えの賜とっております。

私も、若杉小の子どもたちと触れ合う時間が日に日に増えています。子どもたちは、校長室に来て校舎の模型を見ては、「ここは何になるの」と言って、非常に楽しみにしています。子どもたちのそのような姿を見るにつけ、よい準

備ができたと感じております。

天沼小学校が、両校の伝統と歴史を併せ持った学校として、1足す1が2ではなく、4にも、5にもなることを信じています。

どうか皆さまには、今後ともご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

## 式典等について

### ○平成20年2月22日(金)午前

若杉小の子どもたちによる、「ありがとう若杉 旅立ちの会」が開催されました。

楽しく過ごした若杉小学校での思い出。児童の願いを込めた風船が、天高く舞い上がりました。

ありがとう、若杉小学校。



### ○平成20年2月23日(土)午前

杉並第五小の子どもたちによる、「杉五小 ありがとうの会」が開催されました。

心を込めて子どもたちが手づくりした花吹雪が体育館の中を舞い上がりました。

ありがとう、杉並第五小学校。



### ○平成20年2月23日(土)午後

杉並第五小閉校記念式典が開催されました。杉並第五小学校に関係の深い皆様を来賓としてお迎えし、児童、保護者、先生方が見守る中、校旗が区長に返還されました。

杉並第五小学校の歴史を振り返る写真やDVDが写し出され、4年生から6年生までの子どもたちから、歴史と感謝の気持ちを呼びかける言葉や歌を捧げました。多くの参列者が杉五小の歴史と伝統の重みを心に刻み込み、子どもたちの歌声に感動し胸が熱くなる式となりました。



### ○平成20年3月1日(土)午前

若杉小閉校記念式典が開催されました。若杉小学校に関係の深い皆様を来賓としてお迎えし、児童、保護者、先生方が見守る中、校旗が区長に返還されました。

1年生から6年生、こだま学級の子どもたちからの感謝の言葉や、6年生の子どもたちが作詞した「ありがとう 若杉」の歌を感謝の思いを込めて、高らかに歌いあげました。若杉小で過ごしたたくさんの時間、卒業してからも若杉小と共に歩んで来た時間、それぞれの思い出を胸に、多くの方々の目に涙が光っていました。



## 杉並区防災課からのお知らせ

### ○杉並第五小学校の震災救援所について

杉並区では、震災時の避難所である小中学校の代替施設として協力してもらうよう、日本大学第二高校と文化女子大学附属杉並高校と区との間で協定を締結しています。

杉並第五小は、天沼小学校新校舎建設のため、工事期間中の平成22年8月まで使用できなくなります。杉並第五小へ避難されていた地域の方々は、工事期間中、両高校を避難所として活用することができますこととなっています。

期 間：平成20年4月から平成22年8月まで  
避難先：日本大学第二高校 天沼 1-45-33  
文化女子大学附属杉並高校 阿佐谷南 3-48-16

名称：杉並第五小学校・若杉小学校  
統合協議会ニュース最終号  
発行：平成20年3月  
計画のお問い合わせ先：  
杉並区教育委員会事務局学校適正配置担当  
電話 03-3312-2111 (代表)  
E-mail：GAKKO-HAITI@city.suginami.lg.jp



杉並第五小学校と若杉小学校の統合に関する資料は、杉並区教育委員会のホームページに掲載しています。  
○教育委員会ホームページ：<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>